

オンライン設備診断システム

e-LEONEX



旭化成エンジニアリング 旭化成テクノシステム



ドで培われたノウハウが生かされたオンライン設備診断システムです。

■CBM（状態基準保全）の効果

◆突発故障の未然防止、保安の確保

- ・異常徴候を未然に察知し、計画的に保全を実施する事で、災害・事故を防止でき、安定操業が図れる。
- ・突発故障による系やプラントの停止による生産損失や休止損失を防ぐ。

◆故障率の低下、設備の信頼性向上

- ・異常原因（根本原因）の究明を行い、再発防止策の実施、類似設備への水平展開を図ることで、故障率の低減を図る。

⇒**プロアクティブ保全の実施**

◆休止損失の低減、効率的な定修による工期の短縮

- ・状態監視データを基に、補修・更新の可否判定、補修箇所・補修方法の明確化、改善工事の検討を行い、効率的で効果的な定修工事を行うことで、工期の短縮を図る。

◆計画的な保全による修繕費の削減

- ・最適保全（計画的な保全）により、修繕費の削減を図る。

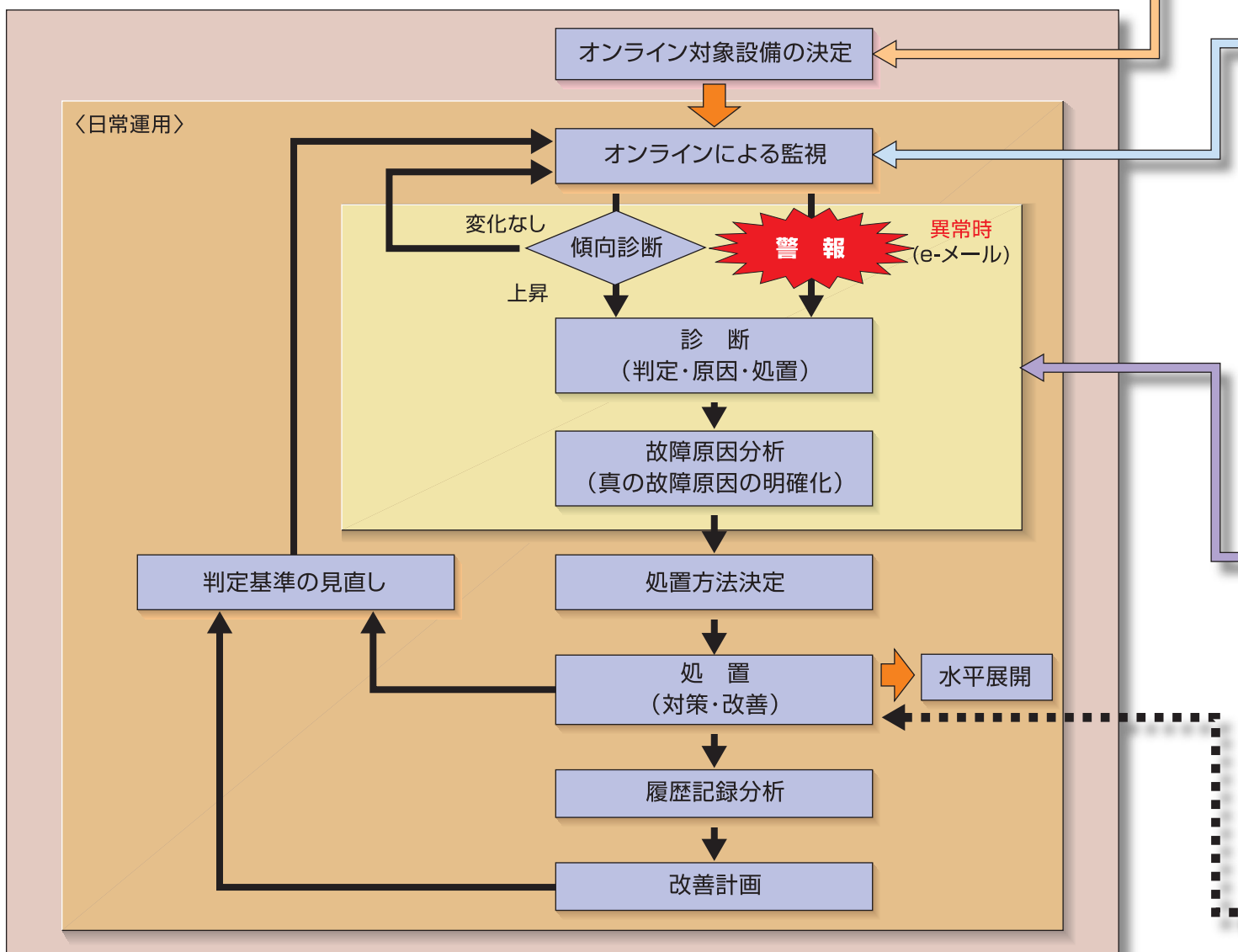
◆定修周期の延長

- ・超安定化運転を実現した後、定修周期の延長を図る。

■オンライン診断システムによる状態監視フロー

状態監視は、単に振動計測を行う事ではありません。

保全のPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルに組み込む事です。



CBM導入による効果を出すためには、体制の構築が必須です。

経験豊富な弊社専門技術者がお客様のCBM体制構築のお手伝いを致します。

旭化成エンジニアリングでは、オンラインシステムのハード・ソフトの提供だけでなく、お客様の効果を最大限に出せるための、様々なサポートをご用意しております。

<計画保全体制構築支援>

保全対象設備の設定

設備重要度ランクの設定

保全方式の設定

保全計画の作成

<オンライン導入支援>

対象機器の仕様調査

オンライン対象機器の仕様を明確にします。

1：機器名称（機器番号） 2：測定点（回転数、軸径） 3：軸受仕様（メーカ、型式）

測定点の決定

異常検出に最適な測定位置、測定方向を決定します。

初期診断（初期振動測定）

対象機器の初期診断により、異常の有無の確認、基準値の設定を実施します。

1：初期異常診断 2：管理基準値設定（AMD基準）

システム設定

システムに必要なデータを入力し、運用可能な状態にします。

1：機器仕様・測定点仕様登録 2：管理基準値入力 など

<診断支援>

<診断技術者育成支援>

診断技術者育成のための研修などを実施いたします。

1：簡易診断技術者育成研修 2：精密診断技術者育成研修
3：フィールドでの実践研修 4：ISO機械状態監視・診断技術者訓練コース（カテゴリーⅠ、Ⅱ、Ⅲ）

<AEC技術者による専門診断支援>

- 1：異常診断…… オンライン監視システムにて、異常あるいは上昇傾向にある場合、その発生原因（真の原因）を明確にし、対策を立案します。
- 2：定修前後診断… 定修前診断により定修におけるSeePointを明確にして、効率的で効果的な定修を行える様にするとともに、定修後診断により定修の品質を評価し、「いじり壊し」を修正します。
- 3：故障原因分析… 故障原因の究明には必要に応じて、破断面解析技術や腐食診断技術、非破壊検査技術などの様々な解析技術を用いて、真の原因を明確にします。

<改善・補修支援>

改善・補修法の検討・提案&実施

◆回転機器のフィールドバリランシング ◆回転機器の基礎補修 など

蓄われたノウハウが生かされたオンライン設備診断システムです。

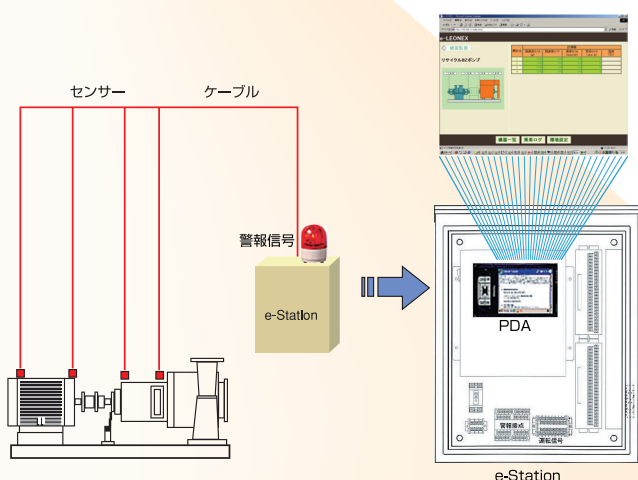
気が付けばいつのまにかオンライン

なかなかオンライン導入に踏み切れなかったお客様へ！

e-LEONEXは、お客さまのニーズに応じステップアップ可能です。

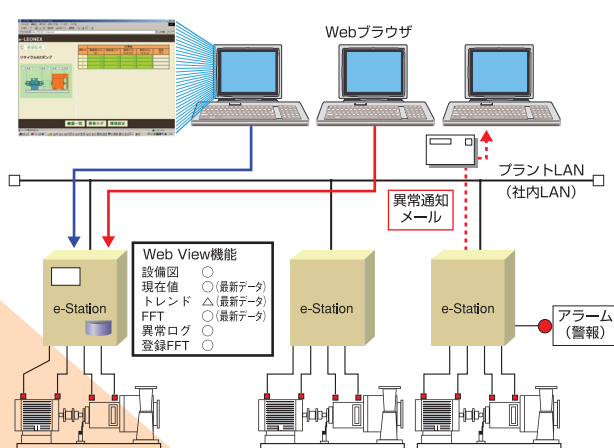
■振動監視ユニット単体でのローカル監視

ネットワークなしでのローカルでの監視に対応

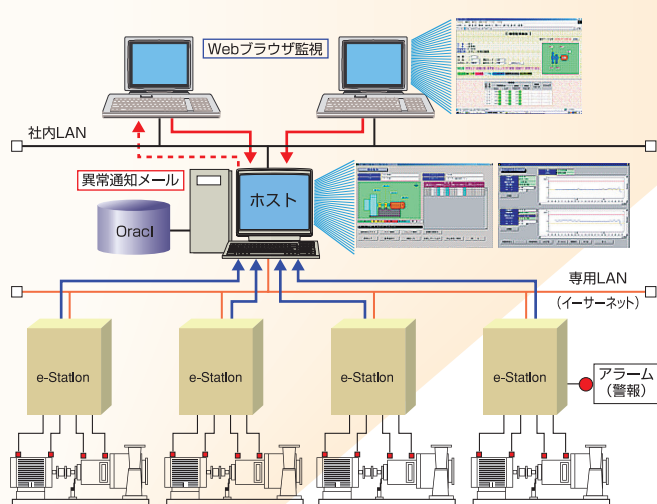


■e-StationによるWeb監視 (Webタイプ)

Webブラウザにより、簡単に監視ができます。



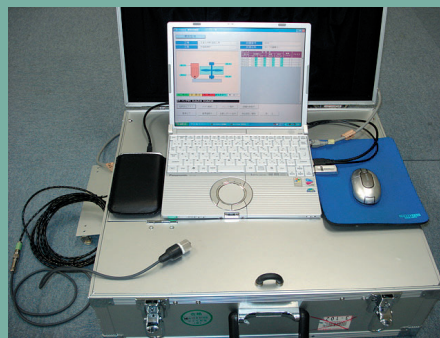
■ホストパソコンによる集中監視 (ホストタイプ)



■テンポラリーオンライン

仮設で簡単に短期的に振動の連続監視を実施！

- ★異常振動発生時などの緊急に（短期的な）監視が必要な場合
- ★通常の運転時には不要だが、重要設備の立ち上げ時などの短期的な連続監視が必要な場合
- ★異常振動（不定期な振動）がいつ発生するかわからない時のデータ収集





メンテナンスの未来を拓くAEC

The gateway to the future of maintenance: AEC

[総販売元]

旭化成エンジニアリング株式会社

プラントライフ事業部

●本社

〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川ビル13F

Tel 03-5462-4607 Fax 03-5462-4622

●地区

宮崎県 〒882-0847 宮崎県延岡市旭町2-1-3 Tel 0982-22-2511 (代表) Fax 0982-22-2958

岡山県 〒712-8054 岡山県倉敷市潮通3-13 Tel 086-458-2358 (代表) Fax 086-458-2367

神奈川県 〒210-0863 神奈川県川崎市川崎区夜光1-3-2 Tel 044-271-2764 (代表) Fax 044-271-2776

URL <http://www.asahikasei-eng.com>

[機器製造・販売元]

旭化成テクノシステム株式会社

旧 サン電子工業株式会社 電子機器事業部

●本社

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー24階

Tel 03-6699-3927 Fax 03-6699-3922

●延岡事業所

〒882-0031 宮崎県延岡市中川原町5丁目4960番地 Tel 0982-22-6100 Fax 0982-22-6061

URL <http://www.a-ts.jp>

e-mail: ats@om.asahi-kasei.co.jp

●記載の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。●本カタログの記載内容は、2008年2月1日現在のものです。●製品の定格及びデザインは、改善等のため予告なく変更する場合があります。